

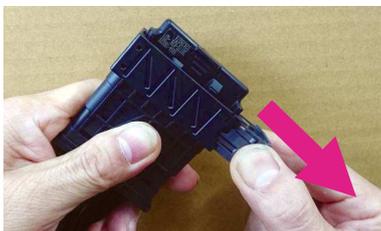
※取り付ける前に必ずお読みください。

重要

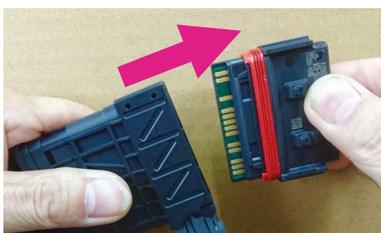
## スロットタイプコネクタ RTF 取り扱い注意事項

※取り扱い方を誤ると重大な故障になり、容易に修理はできません。ご注意ください。

### ■ 純正ECUの取り外し方



- ① 純正ECUを取り外すには、灰色のレバーをいっぱい引っ張ります。

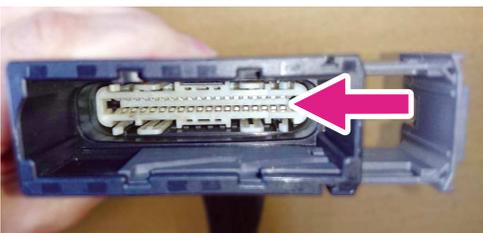


- ② レバーをいっぱい引っ張るとECUがフリーになります。コネクタ本体をしっかり掴んでECUをまっすぐに引き抜きます。ECUの端子は手で触れないでください。

### ■ ENIGMAに純正ECUを取りつける前に確認する事



- ① 製品のコネクタスロット部に埃やゴミが無い事を確認します。次に、灰色のレバーが一杯に引かれている事を確認します。



- ② コネクタスロットの内部(写真)の金属製の端子が開いている事を**毎回必ず確認**してください。矢印部分の金属端子が均等に開いておりECUの「差し込み部分」が入る隙間が空いていることを確認します。車体側コネクタも同様に行います。

重要

確認するコネクタ部の金属端子は、ECUを挿入すると上下から基板を強く掴む構造になっています。このため正しく開いていない時にECUを挿入すると端子を破壊してしまいます。万一、破損した場合容易には修理出来ません。下の写真をよく見て確認してください。

### コネクタスロット内部端子確認

悪い例



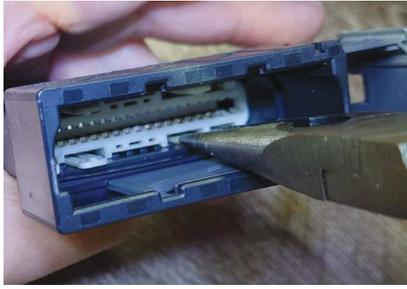
コネクタスロット内部のECU端子をつかむ為の端子が飛び出している。この状態でECUを差し込むと端子が破壊されてしまい重大なトラブルになります。

正しい例



コネクタスロット内部のECUをつかむ為の端子が綺麗に引っ込んでいる。(開いている) ECUから飛び出ている基板端子の厚み分が確保されている。

## ■ 万一、スロット内部端子が正しい位置にない場合



ラジオペンチ等を用いてカプラースロット内部の奥にある白いパーツの上下左右4ヶ所から出ている幅の広いつめを傷付けない様に水平に少しずつ引っ張ります。端子が「正しい例」のようになったらそれ以上は引っ張らないでください。

※カプラーの金属端子部分に触らないようにして下さい。  
ラジオペンチ等を強く握り過ぎないでください。  
また、一度に強く引っ張り過ぎないでください。

## ■ ENIGMAに純正ECUを取りつける



- ① ECUの向きをよく確認し、静かに挿入します。裏表を間違えた方向に入れた場合は、カプラースロットに入りません。ECU本体を真っすぐにカプラーに押し込みます。

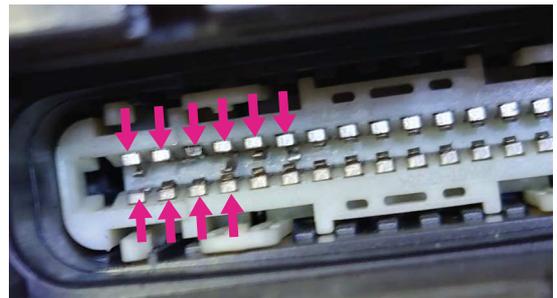


- ② ECU押し込みながら、灰色のレバーを元の位置に押し戻します。この時ECUは灰色のレバーの動きに連動してより深く入っていき正しい位置にセットされます。

※このタイプのECUは本体から基板端子部が露出しており、そこにゴミや埃、汚れや油、指紋が付くと重大なトラブルの原因となります。ECUを取り外したあとは十分注意して取り扱ってください。また取り外した後は、静電気にもご注意ください。

## ! トラブル事例

カプラースロット内部確認をせずにECUを差し込んで端子が壊してしまった例です。矢印の指す端子部分が壊れています。こうなると修理が出来ない為、全交換になります。



ECUの取り外し取り付けは上記説明のように重要な注意事項があります。万一この部分でトラブルが発生しましても、当社は一切責任を負いません。内容を理解して正しく作業を行ってください。少しでも不安がある方は、専門店かプロショップ等に依頼することをお勧めします。

アプリのダウンロード・操作マニュアルはこちら



## ENIGMA type-V

## HUNTER CUB CT125 (2BJ-JA55) 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA type-V (EVD379/EVD379RTF)

対応車両 HONDA HUNTER CUB CT125 (2BJ-JA55)

### カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。ENIGMA 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません) 作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な CT125 (2BJ-JA55) の整備知識が必要です。

ノーマル車両には座席下に ECU が有ります。

外装取り除くと ECU がゴムマウントされています。ECU はカプラーのレバーを引っ張ると外れます。

ECU を外したら配線を加工して ENIGMA type-V を割り込みさせて下さい。

配線終了後 ECU をカプラーに取り付けてください。カプラーに少し ECU を入れ、レバーを押し込むと ECU が引き込まれます。

ENIGMA type-V はリアキャリアの下に取り付ける長さの配線になっています。

水に濡れないよう取り付けてください。

バラ線タイプの ENIGMA type-V の場合、カプラー側の配線に ENIGMA type-V 配線の多くを **割り込み接続します。**

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です。)

**割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く**

**ENIGMA Type-V の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)**

- 基本的に ENIGMA type-V から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA Type-V から接続する配線は全部で 11 本です。

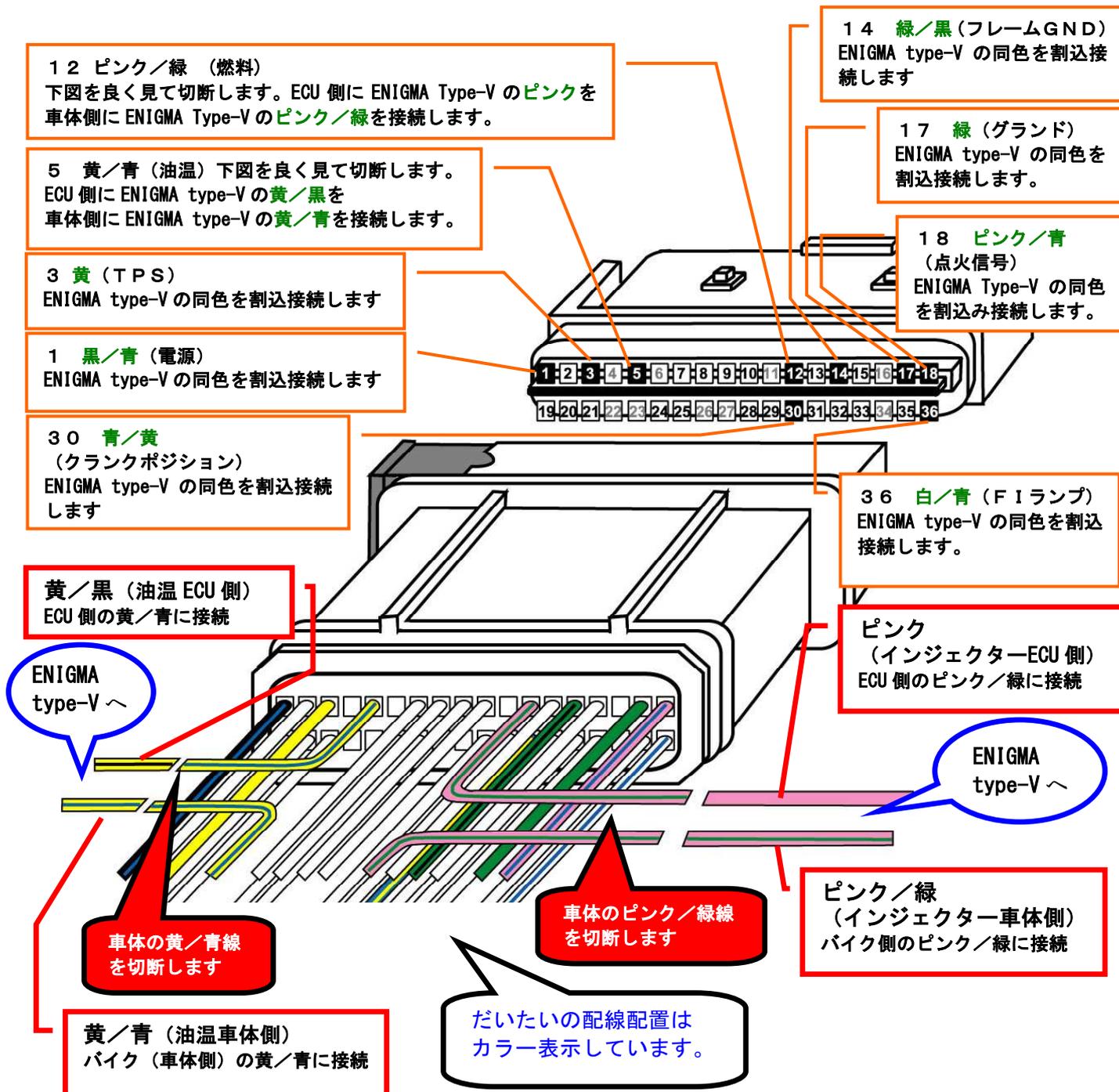
**ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。**

**使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**

- ※ ECU の 12 番端子 (ピンク/緑) へ接続されている線 (インジェクターへの信号) を切断して、ENIGMA Type-V からの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 17 番端子と 35 番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ 7 番端子と 18 番端子はどちらも桃/青線です。ご注意下さい。
- ※ ECU の 5 番端子 (黄/青) へ接続されている線 (油温センサーからの信号) を切断して、ENIGMA type-V からの配線で、バイク車体側に黄/青線を接続、ECU 側に黄/黒線を接続してください。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ **本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水が入るのを防止するため配線側を下にして設置してください。**

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。

当社ではリアキャリアの下に設置を想定して  
 エニグマからの配線は少し長めになっています。



- ECU端子で繋ぐのは1、3、5、12、14、17、18、30、36の9箇所です。  
 上図で良くご確認下さい。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA type-Vはクランク1回転に1回、5Vを出力します。  
 市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に  
 応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA type-V 操作  
 ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

- PC用ソフトは機種専用 ENIGMA type-V CT125 (JA55)用ソフトをお使いください。他のバイク用ソフトや FirePlus 用ソフトはご利用になれません。
- iOS 用アプリ、Android アプリは **ENIGMA type-V 専用アプリ**をお使いください。ENIGMA type-V 専用アプリは、**アプリ内で CT125 (JA55) 専用バイクモデルを購入することにより CT125 (JA55) 用 Enigma type-V で使用することができます。他のバイク専用のバイクモデルや FirePlus 用のアプリは使用できません。**
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。  
iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com/download.html>